令和３年度 授業改善推進プラン 家庭科

	観点別		
学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
５年	・日常生活に必要な衣食住及び家族や家庭生活に関する基礎的な知識を理解させる。 ・道具の使い方をしっかりと理解させ、技能を学ぶ時間を確保する。技能向上に向けて、ものづくりや調理ができるようにする。 ・グループ学習を通して児童同士が教え合い、高め合うことで、技能を身に付けられる場を設定する。 ・ICT機器を用いて説明するなどして、技能向上を目指す。	・家庭科ノートを使用し、毎時間めあてをもたせ、計画的に学習活動に取り組むことができるようにさせる。	・学校で学習したことを家庭でも実践する機会をつくり、進んで家庭でも実践しようとする態度を育てる。
６年	・生活に必要な衣食住及び家族や家庭生活に関する基礎的な知識を、体験的な活動を通して定着させられるよう、デジタル教材を活用したり、実習の充実を図っていく。 ・裁縫においては、３人で2台のミシンを使うなど、一人一人がより多くミシンに触れることを通して、的確な技能を身に付けさせる。 ・学校で実習することが難しい調理においては、デジタル教材を活用し、基本的な知識を身に付けさせる。	・各時間のめあてを児童に示すとともに、学習後の振り返りを行い、児童が自分の考えや工夫したことなどを表現できる機会をもたせる。 ・タブレットパソコン（カメラ機能、スクールタクト）を活用し、調べたことを表現させていく。	・調理実習や掃除など、学校で学習したことを家庭でも実践する機会をつくり、すすんで家庭でも実践しようとする態度を育てる。